

経口摂取

難

食形態のイメージ

易

高知の食形態区分



主食の例



飲料の例



とろみの3段階

段階	〈段階1〉薄いとろみ	〈段階2〉中間のとろみ	〈段階3〉濃いとろみ
性状の説明	①スプーンを傾けると、ずっと流れ落ちる。 ②ストローで容易に吸える。 ③カップから「すー」と流れ落ちる。	①スプーンを傾けると、とろとろ流れる。 ②ストローで吸うのは吸いにくい。 ③カップから「どろどろ」と落ちる。	①スプーンを傾けると、ぼたっと落ちる。 ②ストローで吸えない。 ③カップから「ぼたぼた」とゆっくり落ちる。
形状	 ポタージュ状	 とんかつソース状	 ケチャップ状
とろみ調整食品 (水100mlに対して)	1g	1.5g	2g
備考	*水・お茶などによくかき混ぜながらすばやくとろみ調整食品を加えていきます。溶解後30秒から2分でとろみがつきます。 *数回に分けて加えるとタマができます。 入れすぎるととろみがつきすぎて飲みにくくなる場合がありますので、十分注意が必要です。 *加える食品の種類、温度、量によってとろみが安定するまで時間がかかる場合もあります。		

「高知 咀嚼・嚥下困難な人の食形態区分」活用方法

- それぞれの医療機関や施設、在宅支援サービス事業所などは、入院・退院、施設入所・退所などに際して、患者や利用者が移動する先の他の医療機関や施設、在宅支援サービス提供事業者などに対し、入院・退院、施設入所・退所直前に提供されていた食事形態について「高知 咀嚼・嚥下困難な人の食形態区分」表を用いて申し送りをする。
- 患者や利用者が移動した先の医療機関や施設、在宅支援サービス提供事業者などは「高知 咀嚼・嚥下困難な人の食形態区分」表を用いて、どのような食形態を提供すればよいかを判断する。
- ※「高知 咀嚼・嚥下困難な人の食形態区分」表は高知県内の各医療機関や施設、在宅支援サービス事業所などに配布される他、高知県リハビリテーション研究会ホームページにも掲載しています。(http://www.rihaken.com)
- ※自施設で提供している食事の形態に関する名称を変更する必要はありません。
- ※申し送りの際には、名称から(高知)という言葉を外さず申し送りください。(施設内で通用している同じような名称と区別し、混乱を避けるため)